

平成18年度 川崎市大師公園の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人川崎市公園緑地協会 (川崎市中原区等々力3番12号)
(2) 指定期間	平成18年4月1日から平成21年3月31日まで
(3) 業務の範囲	ア 利用の禁止又は制限に関する業務 イ 利用の承認に関する業務 ウ 監督処分に関する業務 エ 公園の運営に関する業務 オ 有料施設等の運営に関する業務 カ 公園施設の維持管理に関する業務 キ 施設管理に付随する業務 ク その他施設の管理運営に関して必要と認める業務

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の維持・管理に関する業務	作業実施計画表に基づき、経験や実績のある職員を配置し、また研修会開催による技術の習得等により、そのノウハウを活かした管理に努めた。 施設管理の水準を維持・向上させるために、川崎市が提示した管理水準を上回るレベルで実施した。	講義及び実技を兼ねた研修会を行い、管理技術の向上に努めている。 また、維持管理水準書を上回る頻度で実施した業務も見られた。今後もより一層の充実に努めること。
危機管理体制	公園施設の利用の仕方によって発生する潜在的な危険を把握し、安全な利用につなげるために、安全対策マニュアルやハザードマップを作成し、危機管理に対する知識や意識を共有したうえで、職員の施設点検を行い安全確保に努めた。	維持管理の徹底により施設等に起因する事故が発生しなかった点は評価できる。今後も事故を未然に防ぐこと、事故が起きない環境づくりの確保に努めること。
自主事業の取組み	公園の活性化を図るとともに利用者へのサービスの提供や、ニーズに応じた運営を心がけている。 10月には「音楽の夕べ」瀋秀園野外ライブコンサートを開催し、また地元小学校及び町会と協働で花壇造りに取組み、育成管理を進めている。	市民が集い交流する場として公園を利用していただくよう取り組んでいる点が評価できる。今後も継続して事業に取り組むこと。

評価項目	平成18年度管理運営の状況				評価及び指導					
(2) 利用状況					<p>悪天候や施設の老朽化により利用の減少がみられるが、業務上改善が必要であると認められる箇所については、市と協議すること。</p> <p>また、稼働率を上昇させるために、天候による影響を最小限に抑える施設管理の手法や、イベント企画・施設の広報等に努めること。</p>					
平成18年各体育施設の利用状況										
	野球場		庭球場							
	18年度	17年度	18年度	17年度						
供用数(コマ)	2,001	2,008	3,864	3,564						
中止数(コマ)	456		555							
使用可(コマ)	1,545		3,309							
使用数(コマ)	685	950	2,754	3,130						
利用人数(人)	15,999	25,948	14,928	15,470						
使用/使用可	44.3%		83.2%							
使用/供用	34.2%	47.3%	71.3%	87.8%						
<p>供用数と使用数は、単位時間毎に1コマとしている。 (庭球場 午前3時間、午後2時間を1コマ) (野球場 2時間を1コマ)</p> <p>スポーツの多様化が起因と考えられるが、各施設とも利用の減少がみられた。また、降雨後の施設状態の不良により、開放を中止としなければならないことが多かった。管理者として、施設全体の清掃や整理を入念に行い、利用の増加につながるよう努める。</p> <p>その他園内利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>18年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀋秀園</td> <td>105,551人</td> <td>150,853人</td> </tr> </tbody> </table>						18年度	17年度	瀋秀園	105,551人	150,853人
	18年度	17年度								
瀋秀園	105,551人	150,853人								

評価項目	平成18年度管理運営の状況		評価及び指導
(3) 収支状況			<p>高位に設定した管理水準を達成しつつ、経費の節減に努め、適切な執行を行った点は評価できる。今後も、軽易な施設・設備修繕を適正に行いつつ、一層の経費節減と利用者へのサービスの向上に努めること。</p> <p>高位の管理水準とは、野球場の草刈等、市の提示した維持管理水準書にある数値を上回る回数を行っているものである。</p>
収入の状況			
指定管理事業収入	39,300,000円		
自主事業収入	534,374円		
その他の収入	5,409円		
収入合計	39,839,783円		
支出の状況			
事業費	12,458,319円		
主な費目	委託料	8,102,850円	
	消耗品費	960,230円	
	修繕費	451,132円	
	管理費	25,142,749円	
支出合計	37,601,068円		
次期繰越収支差額	2,238,715円		

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(4) その他		
利用者からの意見・要望等への対応	窓口及び電話等により地域住民または公園利用者からの意見要望を受け、施設内に意見箱を設置し、より多くの意見を受けよう努めた。	初年度ということもあり、多くの意見や指摘を受けている。これらにくみとり、今後の運営に役立てること。
	ア 公園内の迷惑行為への対応 巡回時に注意をしており、公園利用者から指摘を受けた際には、その都度現場にて注意している。	連絡体制の見直し等、問題の解決に対して、市との連携の強化に努めること。 また施設パトロールの手法の改善等を行い、問題対処により積極的に取り組むこと。
	イ 公園施設関係 人為的なものと見られる破損についても、日常利用に影響がでないよう即時復旧にあたっている。 樹木剪定については指摘を受けた際、速やかに専門業者に発注をするとともに、落葉が多い樹木は指摘を受ける前に剪定して枝数を減らした。	指摘を受ける前に対応にあたり、受けた後も早急に対応している点は評価できる。 継続して施設管理に取り組むとともに、施設改善の要望を受けたものについては、次年度以降の課題として市とも協議し、検討すること。
個人情報の保護	有料施設利用者や要望書・アンケート等で個人情報を保有するため、必要な情報の管理については施錠付きの保管庫にて保管し、鍵の管理は園長に限定してこれを行わせた。また、公園緑地協会の定める個人情報保護の要綱を遵守し、定期的に監査を行い改善に努めた。	定期的に監査を実施し、改善に努めている点は評価できる。今後とも個人情報保護の徹底に努めること。

3 管理運営に対する全体の評価

指定管理1年目として、施設の維持管理を高位に設定した管理レベルどおりに行えたこと及び野外ライブコンサートや花壇造りといった自主事業を積極的に行うことで、地域の交流の場としての公園という役割を果たしている点が評価できる。

4 来年度の管理運営に対する指導事項等

職員間での認識や知識の共有をより確立させるとともに、公園利用者から意見や指摘を受けた案件について、より積極的に改善に取り組むこと。また、市民が快適に公園を利用できるよう施設パトロールの手法について見直しを行うなど、維持管理にとどまらない施設の管理運営を意識し、利用環境の向上につなげ、利用者の増加やサービスの質の向上を図るとともに、効率的な経費の執行に努めること。